

現状の課題と今後の方向性について

【事業の目的】高齢者世帯等の賃貸住宅への円滑な入居を促進し、居住の安定をはかる
【事業の課題】成約率が低い

現 状

申込者側の状況

物件の選択肢が少ない
時間的猶予がある場合は妥協しにくい



紹介物件を見に行かないことがある

不動産店側の状況

申込書の情報だけでは入居希望者の十分な情報が得ることが難しい
制度の趣旨が浸透していない



紹介件数が伸びない

改 善 案

対面型の仕組みを検討
(既存店舗での対面による物件探し)

今後の方向性

物件探し・入居支援の担い手の確保
・セーフティネット機能向上のため、
居住支援法人との連携を検討

家主向け安心材料の見直し
・安否確認・原状回復費用と残存家財片づけ
費用の補償がセットになったサービス等の
導入を検討

既存事業の充実
・不動産団体への照会方法の見直し
・申込者への物件紹介方法の見直し
(不動産店舗への誘導)
・不動産店・家主に向けた周知の
徹底・協力依頼

